令和７年度重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

高岡市立南星中学校

具体的な達成目標

自律的に行動する生徒の育成
―自重互敬の精神通して―
・相手の気持ちや立場を考えて発言している生徒
よくあてはまると答える生徒：８０％以上
・友達に感謝、ねぎらい、励ましの声などをかけている生徒
よくあてはまると答える生徒：８０％以上

前年度

前年度の生徒の様子や学校評価結果や等を踏まえ、今年度は新たに、本校の校訓である「自重互敬」を前面に出した目標を設定することとした。
その具体的な生徒の行動目標として、上記の２項目を位置づけ、校訓を活かした学校運営を展開していきたい。

行動Ⅰ

■相手の気持ちや立場を考えて発言する。

①道徳の授業において、他者とのかかわり等に関する内容を取り上げ指導する。
②生徒同士の学び合いを授業に取り入れ、仲間との関わりの中で学習内容を理解し定着を図ることができるよう工夫する。
③他者とのかかわりに関する生活目標を設定し、雰囲気の醸成を図る。

■友達に感謝、ねぎらい、励ましの声などをかける。

①道徳の授業において、他者とのかかわり等に関する内容を取り上げ指導する。
②生徒同士の学び合いを授業に取り入れ、仲間との関わりの中で学習内容を理解し定着を図ることができるよう工夫する。
③生徒会活動や学級活動等を通じて、雰囲気の醸成を図る。

中間評価

中間評価（生徒、教職員、保護者）
○学校評価
重点項目に関連する自己評価等を実施する。
・評価結果を、ホームページ等にて公開　　・学校評議員会にて協議
・新たな手立ての構築

評価結果を分析し、今後の取組について共通理解を図る。

行動Ⅱ

■進んで挨拶する
①②③は継続
④新しい手立てを実践

■活躍の場や認められる機会の充実
①②③は継続
④新しい手立てを実践

年度末評価

最終評価（生徒、教職員、保護者）
○学校評価
重点項目に関連する自己評価等を実施する。
・評価結果を、ホームページ等にて公開　　・学校評議員会にて協議

次年度

職員会議等にて、校訓「自重互敬」を前面に打ち出し「自律的に行動する生徒の育成」を目指したことについて、その成果と課題を協議し、次年度の重点目標と行動計画について共通理解を図る。